

園長さんの コ ラ ム

8月30日の新聞を見ていて驚いたことがあります。それは出生数の減少を知らせる記事でした。この2～3年、年度初めに0歳児の定員に満たない施設が出始めていました。

世田谷区はこの11年に1年間に20施設も保育園をつくり続けました。2012（平成12）年園長会に加入したときは東北沢ききょう保育園は50施設あまりでしたが、現在では200施設以上あるようです。

去年も今年も待機児童は少なくなり、8月31日の新聞では今、全国的には2944人しかいない状況になっている。待機児童は1000人以上だった世田谷区でさえ今年は4月は0人といわれました。

保育園が必要な時に利用できる可能性が出てきましたので、働こうと思った時にすぐ預けられる場所がある、というのはありがたいと思います。

2年前は出生数が84万人だったのに、去年は81万人になりました。この分で行くと今年度も3万人減少しそうで、78万人となる可能性があります。

人口が減少していくとどうなるか、素人ながら考えると、経営が難しい保育園が出てくる。定員を減らすか、統廃合しなければならない時代が来るかもしれません。

日本では昔、子どもが生まれると子宝が授けられたとよく言いました。人口の多い国は未来には希望がある、豊かな社会を若者たちが担ってくれることが予測されます。

医療、福祉関係事業という職業は「直接処遇職員」と言われています。人に触れながら看護や介護、保育を行う人たちです。目下人手不足で職員不足を嘆くところが多いです。保護者のみなさんもいつか年を取ります。今の人口減少傾向が30～40年後、支え手が世の中満たされているのかどうか、余計なお世話をして、暗澹たる思いを抱いているところです。他人ごとではない！！